

令和元年度

教育に関する事務の管理及び執行状況の
点検及び評価報告書

中能登町教育委員会

はじめに

この報告書は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定に基づき、中能登町教育委員会が令和元年度に実施した事務事業の取り組みについて自らその状況について点検し評価を行い、金沢大学 浅野秀重 名誉教授からご意見をいただき、まとめたものです。

令和2年10月

中能登町教育委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

— 目 次 —

I 事務の点検評価

1 学校教育

(1) 確かな学力を育む教育の推進	1
(2) ふるさと学習の推進	2
(3) 豊かな人間性や社会性を育む教育活動の充実	3
(4) スポーツの振興	8
(5) 安全安心な学校づくり	9
(6) 特別支援教育の充実	10
(7) 教育委員会と学校及び関連機関との連携した取組	11
(8) 学校と家庭と地域の連携強化	13
(9) 中能登らしい学校教育の推進	15
(10) 夢プロジェクト事業	16
(11) ICT整備推進事業	18

2 学校施設・設備の整備充実

(1) 学校整備事業	18
------------	----

3 学校給食

(1) 学校給食	18
----------	----

4 文化財

(1) 文化財保護事業	19
(2) 文化財管理運営事業	21

5 生涯学習の振興

(1) 生涯学習センター「ラピア鹿島」の充実	23
(2) 生涯学習講座の実施	24
(3) 生涯学習のつどいの実施	25
(4) 公民館活動の充実	26
(5) 青少年の健全育成	30
(6) 国際交流事業の推進	31
(7) 図書館の充実	34

6 生涯スポーツの振興	
(1) ジュニアスポーツクラブの充実	37
(2) 地域スポーツの振興	38
(3) スポーツ施設の整備・充実	39
(4) 指導者の養成と選手の育成	40
※注釈	41
II 教育委員の主な活動	42
III 令和元年度決算（教育委員会）の概要	44

1. 教育のビジョン

○中能登町学校教育振興ビジョン

1. 基本理念

ふるさとに愛着と誇りをもち、将来を夢みて未来を切り拓く中能登っ子を育てる

2. 基本方針

- 1) 確かな学力と社会性を身につけ、大好きな自分づくりに励む中能登っ子
- 2) 生命を尊重し、正義感と思いやりの心を持つ人間性豊かな中能登っ子の育成
- 3) 心身ともに健康で、自分らしさを発揮し、たくましい行動の出来る中能登っ子の育成

○中能登町社会教育振興ビジョン

1. 基本理念

霊峰石動山と古墳つらなる眉丈山の麓まほろばの地に抱かれ、ふるさと愛を持ち、健康で心豊かな文化の香り高い町を目指す

2. 基本方針

少子高齢化が進行する中、家庭・学校・地域との連携を強化し、町の歴史や文化を継承しつつ、生涯学習・生涯スポーツなど、心豊かに生涯にわたり学び合える環境づくり、また、人間性豊かな、活力ある社会基盤づくりを推進する。

I 事務の点検評価

1 学校教育

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(1) 確かな学力を育む教育の推進	<p>○学力向上を目指す校内研修と日常的な取組の充実 小・中学校ともに、年間を通して、校内研修を実施している。中能登教育事務所より、指導主事を要請し、学力向上に向け授業の工夫改善を図っている。</p>	<p>【成果】 組織的な運用が図られるようになってきた。</p>
	<p>○研究指定校及び自主研究校における研究実践の推進 ① 学力向上プログラムサポート事業（鳥屋小学校） ・県学校指導課の目ヶ谷直人マネジメントサポーターが、定期的にサポート校（鳥屋小学校）を訪問し、授業や児童の生活態度等を観察し、指導・助言を受ける。 ・町内4小中学校での学力向上連携協議会を定期的に開催し、各校の取組状況を報告し合い、目ヶ谷直人マネジメントサポーターから指導・助言を受ける。</p>	<p>【成果】 ・鳥屋小学校では、校長のビジョンを明確に提示し、各主任と連携しながら学力向上の各取組を推進することができた。さらに、取組状況を可視化し、具体的な改善策を検討することができた。</p> <p>【今後の方向性】 ・学力向上プログラムサポート事業は、平成30年度からの事業である。令和2年度は鹿西小学校を中心に進めていく予定である。</p>
	<p>○小学校における外国語活動の充実及び中学校における姉妹提携校との相互交流による英語教育の拡充 ①ALT*1（外国語指導助手）の各小中学校への配置計4名 ②町指定英語教育推進事業 中能登町外国語教育研修会 日時：令和元年10月31日（木） 場所：〔午前〕中能登中学校・〔午後〕鹿島小学校 講師：愛知県立大学 准教授 池田 周 氏 内容：研究授業及び研修会 <授 業>中学1年授業・小学6年授業 <研修会> ・中学校 新学習指導要領の目指す中学校外国語—小学校の「学び」をどう引き継ぐか— ・小学校 「外国語活動」「外国語科」の指導の在り方—全面実施前年度の今、理解しておきたいこと—</p>	<p>【成果】 ・ALT*1が常駐することで、児童・生徒のネイティブの英語に触れる機会が増し、外国語への慣れ親しみや文化への関心を高めることができた。 ・研修会では、小学校の外国語教科化や中学校の移行期における留意点を共通理解することができた。</p> <p>【今後の方向性】 ・小学校において、教員の外国語指導のスキルアップがさらに求められる。令和2年度は、ALT*1を講師とした校内研修会を計画的に実施し、教員の指導力向上を図っていく。 ・ALT*1が派遣契約（H30より）となったことから、各学校が積極的に要望を出しながら、外国語の教育環境の充実をさらに図っていく。</p>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(1) 確かな学力を育む教育の推進	<p>③中能登中と台湾成功國民中との交流 日時：令和元年7月26日10:00～12:00 場所：中能登中学校 ランチルーム 内容：成功國民中アトラクション披露・楽器演奏 中能登中部活動見学（弓道・剣道） ＊生徒はホームステイ（2泊3日）</p>	
	<p>○学力調査の実施と活用 ①小学校における総合学力調査（町テスト） 日時：令和2年1月15日 小学1年生～4年生…国語・算数 小学5年生～6年生…国語・社会・算数・理科</p> <p>②中学校における英語力調査 ・GTEC*²での4技能調査実施 対称：中学2・3年生全員 令和元年10月10日…3技能（聞く・読む・書く） 令和元年10月30日…スピーキング ・英語検定の実施 年間3回 5月（2年全員） 10月（希望者） 1月（1年全、希望者） ＊合格者数：延べ174名（全校生徒数479名中） 準2級4名 3級40名 4級31名 5級99名</p>	<p>【成果】 ・小学5・6年生に4教科のテストを実施したことで、学力の定着状況を広い範囲で見ることができた。 ・個人の結果情報が、3学期への課題改善の参考となっている。</p> <p>【今後の方向性】 ・GTEC*²調査結果の分析を進め、課題を明確にしながらか授業改善に生かしていく。 ・英検に対する働きかけをさらに積極的に行っていく。 ・2020年度より小学校高学年の外国語科が導入となることから、令和2年度は、小学6年生のGTECjunior受験を働きかけていく。</p>
	<p>○家庭と連携した学習習慣の確立 ①家庭学習の手引き ・夢プロジェクトにおける学力向上の一環として作成（小学校低学年、高学年、中学校用） ・学校の状況に応じて、配布し参考になっている。</p> <p>②家庭生活・学習状況調査 ・学期毎に、初めの1週間調査</p>	<p>【成果】 ・学習習慣の向上について、町内の学校が共通して取り組むことができた。</p> <p>【課題】 ・課題となる学年や個人が固定化する傾向があり、個別の対応が必要である。</p>
(2) ふるさと学習の推進	<p>○地域の豊かな自然や文化・歴史遺産等の良さを学ぶ、及び郷土愛高揚の促進 ① 総合の時間で史跡、雨の宮古墳群、石動山や学校周辺の歴史文化遺産の見学</p> <p>・鳥屋小学校 5月～6月 校区環境調査 (6年) 5月 9日 田植え体験 (5年) 9月 19日 稲刈り体験 (5年)</p> <p>・鹿島小学校 5月 10日 田植え体験 (5年) 9月 10日 稲刈り体験 (5年)</p>	<p>【成果】 ・ふるさとの豊かな自然の観察や歴史文化遺産の見学、ふるさと検定等を通して、町のよさを再認識し、愛着を育むことができた。</p>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(2) ふるさと学習の推進	<p>9月21日 石動山森づくり (6年)</p> <p>10月9日 サツマイほり体験 (2年)</p> <p>11月12日 もちつき体験 (3年)</p> <p>・鹿西小学校</p> <p>5月8日 田植え体験 (5年)</p> <p>9月19日 稲刈り体験 (5年)</p> <p>10月10日 秋の仲よし遠足 (全校)</p> <p>10月18日 脱穀体験 (5年)</p> <p>11月19日 ライスパーカーづくり (5年 PTCA)</p> <p>②「中能登町子どもふるさと検定」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学4年生対象 ・実施日 11月15日 ・受験者 146名、合格者数 136名 ・合格率 (93.4%) <p>③社会科副読本の活用 (小学3、4年生対象)</p> <p>『わたしたちの中能登町』</p> <p>『わたしたちの中能登町 資料編』</p> <p>(文化財、名所、観光地等掲載)</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年、5年生で実施してきたふるさと検定だったが、高学年の行事が多いため、今年度は4年生で実施した。学年が下がったが、93.4%と高い合格率をあげることができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度に作成した社会科副読本を活用するとともに、歴史文化遺産の見学や中能登町の産業等についても理解を促し、郷土・故郷への愛着がより一層深められるように「ふるさと検定」を継続していきたい。
	<p>○伝承文化の体験と鑑賞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥屋小学校 4月 「中能登音頭」講習会 (5、6年) 7月 能登上布等の町めぐり (4年) 9月 トキについての学習 (3～6年) 12月 「鶉様道中」の出前講座 (3年) 1月 創修館で「昔の暮らし学習」 (3年) ・鹿島小学校 11月14日 鶉様道中に参加 (4年) 	<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度も伝承文化の体験や鑑賞を実施したい。
(3) 豊かな人間性や社会性を育む教育活動の充実	<p>○児童活動及び生徒会活動の重視</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥屋小学校 毎月 児童集会、委員会発表、学年発表 縦割り班 (朝の読み聞かせ、ゲーム) (外国語活動の学習成果発表、ふれあい集会) 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童会活動では、縦割り班を行うことで、全学年が交流できた。また、高学年はリーダーとして自覚が芽生えた。ふれあい集会では、お世話になった地域の方に感謝の気持ちを伝えることができた。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価																																												
(3) 豊かな人間性や社会性を育む教育活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・鹿島小学校 縦割り班 (はじめましての会) (なかよくなろう会、弁当持参) ・鹿西小学校 縦割り班 (なかよし集会) (なかよし掃除) (なかよし給食) (なかよし遊び) (なかよし挨拶) ・中能登中学校 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr><td style="width: 30%;">4月、9月</td><td>生徒会認証式</td></tr> <tr><td>4月、9月</td><td>生徒総会</td></tr> <tr><td>4月～12月</td><td>委員会活動</td></tr> <tr><td>4月～12月</td><td>生徒集会</td></tr> <tr><td>10月</td><td>学校祭</td></tr> <tr><td>7月、3月</td><td>生徒会役員選挙</td></tr> </table> 	4月、9月	生徒会認証式	4月、9月	生徒総会	4月～12月	委員会活動	4月～12月	生徒集会	10月	学校祭	7月、3月	生徒会役員選挙	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会活動では、学級、学校のリーダーとしての自覚を持たせ、一人ひとりが学校を運営する意識を持つことができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童会活動で、学んだことをもとに、中学校では生徒が主体となる活動ができるよう取り組んでいきたい。 																																
	4月、9月	生徒会認証式																																												
4月、9月	生徒総会																																													
4月～12月	委員会活動																																													
4月～12月	生徒集会																																													
10月	学校祭																																													
7月、3月	生徒会役員選挙																																													
<p>○心に響く学校行事や各種体験活動・ボランティア活動への積極的な取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各小学校 PTA 親子奉仕作業 6年生を送る会 ・鳥屋小学校 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr><td style="width: 30%;">5月</td><td>地域清掃</td><td>(6年)</td></tr> <tr><td>5月</td><td>田植え体験</td><td>(5年)</td></tr> <tr><td>8月</td><td>サマーキャンプ</td><td>(6年)</td></tr> <tr><td>9月</td><td>絵本(宮沢賢治)講座</td><td>(6年)</td></tr> <tr><td>9月</td><td>稲刈り体験</td><td>(5年)</td></tr> <tr><td>11月</td><td>町社会福祉協議会指導者による「車いす・盲体験学習」</td><td>(4年)</td></tr> <tr><td>12月</td><td>町食生活改善推進委員による「豆腐作り」</td><td>(3年)</td></tr> <tr><td>2月</td><td>保育園訪問交流</td><td>(3年)</td></tr> </table> ・鹿島小学校 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr><td style="width: 30%;">9月</td><td>社会福祉体験</td><td>(4年)</td></tr> <tr><td>11月</td><td>認知症キッズサポーター養成講座</td><td>(4年)</td></tr> <tr><td>12月</td><td>ひとり暮らしふれあいのつどい</td><td>(1年)</td></tr> </table> ・鹿西小学校 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr><td style="width: 30%;">5月</td><td>運動会での鼓笛隊、縦割り班対抗競技</td><td>(全学年)</td></tr> <tr><td>10月</td><td>保護者、地域の方との「なかよし遠足」</td><td>(全学年)</td></tr> </table> ・中能登中学校 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr><td style="width: 30%;">7月</td><td>わく・ワーク職場体験活動</td><td>(2年)</td></tr> <tr><td>8月</td><td>平和集会</td><td>(全学年)</td></tr> </table> 	5月	地域清掃	(6年)	5月	田植え体験	(5年)	8月	サマーキャンプ	(6年)	9月	絵本(宮沢賢治)講座	(6年)	9月	稲刈り体験	(5年)	11月	町社会福祉協議会指導者による「車いす・盲体験学習」	(4年)	12月	町食生活改善推進委員による「豆腐作り」	(3年)	2月	保育園訪問交流	(3年)	9月	社会福祉体験	(4年)	11月	認知症キッズサポーター養成講座	(4年)	12月	ひとり暮らしふれあいのつどい	(1年)	5月	運動会での鼓笛隊、縦割り班対抗競技	(全学年)	10月	保護者、地域の方との「なかよし遠足」	(全学年)	7月	わく・ワーク職場体験活動	(2年)	8月	平和集会	(全学年)	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事や、体験活動をとおり、心身ともに成長することができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事や体験活動をとおり、学んだことを、生活に活かせるよう、取り組んでいきたい。 また、わく・ワーク職場体験活動が、今後の進路選定のきっかけになるよう、取り組んでいきたい。
5月	地域清掃	(6年)																																												
5月	田植え体験	(5年)																																												
8月	サマーキャンプ	(6年)																																												
9月	絵本(宮沢賢治)講座	(6年)																																												
9月	稲刈り体験	(5年)																																												
11月	町社会福祉協議会指導者による「車いす・盲体験学習」	(4年)																																												
12月	町食生活改善推進委員による「豆腐作り」	(3年)																																												
2月	保育園訪問交流	(3年)																																												
9月	社会福祉体験	(4年)																																												
11月	認知症キッズサポーター養成講座	(4年)																																												
12月	ひとり暮らしふれあいのつどい	(1年)																																												
5月	運動会での鼓笛隊、縦割り班対抗競技	(全学年)																																												
10月	保護者、地域の方との「なかよし遠足」	(全学年)																																												
7月	わく・ワーク職場体験活動	(2年)																																												
8月	平和集会	(全学年)																																												

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(3) 豊かな人間性や社会性を育む教育活動の充実	<p>○道徳教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥屋小学校 11月 一斉公開授業 (全学年) ・鹿島小学校 12月 手話講座 (4年) ・鹿西小学校 12月 動植物愛護 (1年) ・中能登中学校 11月 県指定「人と地域を生かした道徳教育講座」を受け、公開授業研究会 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳授業では、中学校は、学校独自の授業スタイルを研究・確立し、1年を通して実施した。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続して道徳授業の充実に努めていきたい。
	<p>○人権教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥屋小学校 4月 聞こえに関する児童向け学習会 (全学年) 8月 町人権標語に応募 (5、6年) ・鹿島小学校 11月 男女共同参画事業出前授業 (6年) ・鹿西小学校 12月 男女共同参画事業出前授業 (5年) ・中能登中学校 6月～12月 「人権教室」 (全学年) 10月 「人権教育講話」 (2年) 6月～7月 「人権作文コンクール」 (全学年) 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権教育の推進に向けて、学校教育全般を通じて全体計画の中に位置づけている。 ・各小中学校の状況に応じて、人権意識啓発のための授業や講座を実施することができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も色々な場面をとおし、人権教育の充実に努めていきたい。
	<p>○いじめ、非行、不登校へのきめ細やかな指導及び携帯電話やスマートフォン等の使用への適切な対応</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 鹿西小学校 ネットによる被害防止 2) 鳥屋小学校 情報モラル教室 3) 鹿島小学校 不審者対応 4) 中能登中学校 非行被害防止教室 <p>① 薬物乱用防止教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各小中学校で、薬剤師や保健師等から、薬物・喫煙・アルコール飲酒が心身に及ぼす被害について、科学的根拠に基づいた講義を受けた。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ事案について管理職を中心に学校全体で取り組む体制ができてきている。 ・いろいろな立場や場面からいじめを発見し、迅速な対応ができています。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(3) 豊かな人間性や社会性を育む教育活動の充実	<p>② いじめ問題への取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 26 年 9 月 19 日に中能登町いじめ問題対策連絡協議会条例及び中能登町いじめ防止基本方針を制定 ・いじめアンケート調査の実施 ・いじめ対応アドバイザー派遣事業を積極的に活用し、小学校に派遣した。 <p>③非行（暴力）の防止と取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に関係機関と連携し、多様化する非行の現状を踏まえ犯罪被害の防止と健全育成対策を進める。 <p>④不登校児童生徒への対策と取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校傾向の状況を日頃の児童生徒の観察を通して把握し、早期に適切な対応が取れるようにした。 ・カウンセラー派遣事業や個別指導、別室指導を実施している。 <p>⑤ネットの諸問題への取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネット被害防止 指導資料（CD）、資料「親子のホットとネット大作戦」等を活用した。 	<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ、非行、不登校対策については継続して事業を実施していく。学校だけでは解決が困難なケースではSSW^{※3}を活用し、対応していく。 ・携帯電話やスマートフォンなど情報機器等の児童生徒の利用については、家庭と連携した「なかのとネットマナー」に取り組んでいく。また、ネット被害予防のための研修会、勉強会の場をもつよう努めたい。 ・不登校児童生徒については、一人ひとりに応じた支援を継続していききたい。また、新たな不登校を増やさないよう、きめ細やかな対応に努めたい。
	<p>○石川県教育委員会指定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いしかわ道徳教育推進事業 「人と地域を生かした道徳教育講座」 ・中能登中学校 11 月 15 日 <研究主題> 『学習と自分を結び、共に高め合いながら、学びを深めていく生徒の育成』 <内容> 指定授業 公開授業 全体会 分科会 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育の推進や児童生徒の良好な人間関係づくりに取り組むことができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いしかわ道徳教育推進事業については、近隣の推進校の研究発表会に参加し、教科化に向けた研修を深めていく。
	<p>○中能登町教育委員会指定</p> <p>①算数教育実践推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鹿西小学校 9 月 26 日 <p>②国語・算数教育実践推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鹿島小学校 10 月 1 日 <p>③国語教育実践推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥屋小学校 10 月 9 日 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究のねらいや方向性を、全教職員で共通理解しながら推進を図ることができた。 ・指導主事や講師を召喚し、教科のねらいや授業づくりについての研修ができた。また、町内の小中教員も研修会に参加し、共有できた。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(3) 豊かな人間性や社会性を育む教育活動の充実		<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業形態や方法等の工夫において、ねらいに達するための必要感や必然性の検討が必要である。 ・町指定ではなく、各学校が、実情に応じた校内研修を計画し推進する。
	<p>○キャリア教育の推進</p> <p>①土曜授業「中能登しごと館」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)実施日 11月9日 2)場 所 中能登中学校 3)受講者 中学1～3年生(479人) 4)内 容 <ul style="list-style-type: none"> ・33ブースの設置 ・地域の先生 39人 ・保護者や地域の方々、約100名参加 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中能登中学校PTAの牽引により、地域の方々を巻き込んだ「中能登しごと館」を昨年に引き続き開催することができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「中能登しごと館」を今後も継続して開催し、キャリア教育を推進するとともに生徒の学ぶ意欲の向上を図っていく。
	<p>○中能登町こども議会の開催(第3回)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)開催目的 <ol style="list-style-type: none"> 1.将来の中能登町を担う子どもたちが、自分の町の姿をよく見つけ、中能登町を拠点とする企業を広く外部に発信することにより、卒業後に中能登町で働くことに、意欲をもち、まちづくりに進んで参画し、町政への関心を高めることができるようにする。 2.行政や議会の仕組みを学ぶことをとおし、政治を身近に感じるとともに、まちづくりに進んで参画しようとする意欲を高めることができるようにする。 2)開催日 令和元年12月11日(水) 14時00分から15時30分 3)場 所 中能登町議会本会議場 中能登中学校3年生各教室 4)参加者 中能登町立中能登中学校3年生 (こども議員19名、内こども議長2名) 5)内 容 <ol style="list-style-type: none"> 第1部 本会議場にて、議会の仕組みや議員の役割について説明を行う。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年に引き続きこども議会の開催をした。生徒が、総合学習の時間に調べたことについて発表を行なった。議場での発表という貴重な体験をすることができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際の議会を身近に感じるために、議会の傍聴を検討していきたい。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(3) 豊かな人間性や社会性を育む教育活動の充実	<p>第2部 プレゼンテーションソフトを使い、生徒が総合学習の時間に取材・編集した企業について発表をする。</p> <p>発表者 15名 議場：町長、副町長、教育長、教育文化課長、教育文化課担当課長 議会議員 傍聴席 教育委員、教諭</p>	
	(4) スポーツの振興	<p>○スポーツ少年団の組織強化と指導体制の充実及び町体育協会などスポーツ団体との連携による支援体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥屋小学校 5月 全校ラジオ体操講習会 7月 専門指導員による水泳教室 6・7月 郡・県陸上記録会に向け地域指導者参加による練習 ・鹿島小学校 7月 専門指導員による水泳指導 ・鹿西小学校 7月 専門指導員による水泳指導
<p>○スポーツ教室への加入促進 各小学校へ、毎年4月加入申込書の配布</p>		<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ教室への加入促進に努めた。
<p>○部活動の活性化の推進 中学校では運動部活動指導の工夫改善支援事業を積極的に取り入れ、女子バレーボールを除いて、コーチを配置するとともに、弓道部やバドミントン部では、部活動指導員を配置した。</p>		<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弓道部やバドミントン部では、部活動指導員を配置し、活用することができた。
<p>○活動費の助成や大会派遣への支援体制の強化</p> <p>①中学校体育連盟が主催する大会(10割補助)、これに準ずる大会(10割補助)、派遣費補助を実施した。</p> <p>②石川県大会は参加費等及び交通費の補助を実施</p> <p>③小学生のスポーツ活動では、石川県小学生陸上競技大会、鹿島郡小学生陸上競技大会、いしかわっ子駅伝交流大会などの参加費等補助を実施した。</p>		<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続して支援をしていきたい。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(5) 安全安心な学校づくり	<p>○交通安全意識の高揚と実践</p> <p>①ヘルメット助成 ・中学校入学時に新1年生申請者にヘルメット購入費の全額を補助（助成生徒数125人）</p> <p>②通学路の緊急合同点検の実施 ・小学校では通学路の安全点検や、児童に対して通学体験などを指導。「中能登町通学路安全プログラム」（町ホームページを参照）に基づき公表した。</p> <p>③見守り隊などボランティア活動の実施 ・継続的に街頭指導、児童の登下校の見守り、校区内の夜間巡視など、各小学校PTAと連携をとり、年間を通して通学の恒常的な安全確保に努めた。</p> <p>④交通安全教室の実施 ・小学校、中学校で七尾警察署安全課職員及び地元駐在所所長を講師に交通安全教室を実施した。</p>	<p>【今後の方向性】</p> <p>・今後も、関係機関や、見守り隊などボランティアの方と連携しながら、安全安心に努めていきたい。</p>
	<p>○地震や洪水など天災発生時の避難誘導</p> <p>①教頭会での避難対策打合せ実施 ・各学校で年度初めに計画された防災計画に基づいて、年間2回から3回程度の避難訓練を実施</p> <p>②実践的防災教育の実施と取組 ・各小学校 1) 土砂崩れを想定した避難訓練を実施（全校）、その後、保護者への直接引き渡し訓練を実施 ・中能登中学校 1) 火事や地震を想定した避難訓練を実施</p>	<p>【成果】</p> <p>・避難訓練を定期的に振り返り、自ら考える機会となるよう検証と改善を繰り返す必要性を確認できた。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>・防災力・生きる力をもった次世代の育成の視点から、防災教育に取り組んでいく。 ・児童引き渡しの基準や具体的手順の確立、放送に頼らない訓練方法等も検討していく。</p>
	<p>○火災や原発事故などへの適切な対応</p> <p>①避難訓練の実施 ・避難訓練の実施必須化に伴い、各学校において年間2回から3回程度の学校独自の訓練を実施した。 ・Jアラート※4訓練やシェイクアウトいしかわ等、県・町防災訓練等にも積極的に参加した。</p>	<p>【今後の方向性】</p> <p>・災害時に知識を生かし判断ができる防災教育を継続して、避難訓練を実践していく必要がある。</p>
	<p>○防犯教室の実施</p> <p>・各小中学校において1回から2回実施した。</p>	<p>【今後の方向性】</p> <p>・実際に不審者等に出会ったときに身を守るよう、また、未然防止できるよう今後も継続して実施する。</p>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(6) 特別支援教育の充実	<p>○未就学児及び在学児童生徒の相談などの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県教育相談 6月17日 ・ 県就学相談 10月8日 ・ 町就学相談 8月20日 10月29日 ・ 教育支援委員会 11月28日 ・ 各小中学校において専門相談の実施 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育相談や就学相談を実施することができ、保護者の方の相談に対応することができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度も相談会の開催を継続していきたい。町で相談員を育てていくことが今後の課題である。
	<p>○特別支援教育支援員の適正配置と研修の充実</p> <p>①各小中学校に支援員配置</p> <p>②特別支援教育支援員研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施日 7月25日 ・ 場 所 ふるさと創修館 視聴覚室 ・ 対象者 支援員 <p>③特別支援教育研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施日 1月6日 ・ 場所 ラピア鹿島 第2会議室 ・ 参加者 特別支援学級担任、通級担当 他 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 支援員を配置することで、個々に応じた支援が行われた。 ・ 支援員を対象に研修会を開催した。 ・ 事前のアンケートによる支援員や担任の質問事項を基に研修ができた。 ・ 小中学校教職員を対象に、特別支援教育に関する研修会を開催した。 ・ 保育園訪問を通して、新小学校1年児童のスムーズな受け入れができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特別支援学級に限らず通常学級における特別支援を要する児童生徒の増加傾向がみられることから、全教職員を対象に特別支援教育の研修の充実を図っていく。 ・ 保育園、小中学校の連携を今後も継続していきたい。
	<p>○家庭・保育園・学校・教育委員会の定期的な懇談会の実施</p> <p>①保育園、子ども園訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年間3回～4回 町内保育園、子ども園を訪問 (教育委員会) ・ 夏休み期間等、町内保育園、子ども園を訪問 (小学校教諭) <p>②年中児巡回相談</p> <p>1月から2月にかけて、町内保育園、子ども園を訪問 (教育委員会)</p> <p>③ 定期的な小学校への訪問 (教育委員会)</p>	<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成27年度から、保健センターを中心に年中児巡回相談を実施している。 ・ 小中学校の教諭を対象に、研修会を継続していきたい。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価																				
(7) 教育委員会と学校及び関連機関との連携した取組	<p>○教育委員会の学校訪問</p> <p>1. 実施日</p> <table border="1" data-bbox="339 286 930 488"> <thead> <tr> <th>計画訪問</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・鹿西小</td> <td>6月3日</td> <td>11月12日</td> <td>1月28日</td> </tr> <tr> <td>・鳥屋小</td> <td>6月6日</td> <td>12月6日</td> <td>1月29日</td> </tr> <tr> <td>・鹿島小</td> <td>6月24日</td> <td>11月8日</td> <td>1月30日</td> </tr> <tr> <td>・中能登中</td> <td>6月20日</td> <td>12月9日</td> <td>2月4日</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 内容</p> <p>(1) 学校経営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校長の経営ビジョンに基づいた組織的運営 ・人材育成（若手育成体制） <p>(2) 研究授業及び研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ねらいを明確にした授業研究 ・指導法の工夫・改善に向けた指導 <p>(3) 担当者打ち合わせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究主任 ・道徳教育推進教師 ・特別支援教育コーディネーター ・生徒指導主事 	計画訪問	A	B	C	・鹿西小	6月3日	11月12日	1月28日	・鳥屋小	6月6日	12月6日	1月29日	・鹿島小	6月24日	11月8日	1月30日	・中能登中	6月20日	12月9日	2月4日	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各小中学校の訪問時に、学校経営方針や教育方針について各担当の説明があり、目標とする点を教育委員会と共有することができた。 ・年間を通して学校訪問をすることで取組の進捗状況や児童生徒の変容を把握することができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じた計画訪問により学校教育全般にわたる指導を行っている。今後、各校の課題や必要性に応じた研修の計画・実施を積極的に行うことを働き掛けていく。 ・人材育成の観点から、各校の若手育成の時間的、内容的な工夫について情報収集をし、各校が共有できるようにしていく。
	計画訪問	A	B	C																		
	・鹿西小	6月3日	11月12日	1月28日																		
	・鳥屋小	6月6日	12月6日	1月29日																		
	・鹿島小	6月24日	11月8日	1月30日																		
・中能登中	6月20日	12月9日	2月4日																			
<p>○視察(規則正しい学校生活について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 令和元年9月25日 教育長、教育委員(4名)、事務局(3名) (1) 愛知県刈谷市立依佐美中学校視察 <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 給食残食ゼロの取り組みについて 不登校を出さない学級づくりについて 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食の残食ゼロや不登校を出さない学級づくりに向けた活動の取組について意見交換できた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが給食の残食ゼロに取り組める環境づくりを心掛けていく。また、不登校を出さない学級づくりに取り組んでいくよう働きかけていく。 																					
<p>○教育委員会に指導主事を配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H29年度より、教育委員会に指導主事を配置 	<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校への指導を継続していきたい。 																					
<p>○町PTA連合会との懇談会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 令和元年8月23日 参加者 町PTA連合会、町長、教育長 教育委員 	<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も懇談会を継続していきたい。 																					
<p>○教育委員会連合会研修参加</p> <p>①定期総会講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 令和元年5月14日 ・場 所 金沢市教育プラザ富樫 ・演 題 「プログラミングが拓く新しい学びの perspectives」 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各講演会、セミナーを通して教養を高めることができた。 																					

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(7) 教育委員会と学校及び関連機関との連携した取組	<p>・講師 金沢市プログラミング教育ディレクター 松田 孝 氏</p> <p>②教育委員会セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 令和元年8月8日 ・場 所 KKR ホテル金沢 ・演 題 「わからない、を楽しむ」 ・講師 金沢 21 世紀美術館 館長 島 敦彦 氏 <p>③研究大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 令和元年10月11日 ・場 所 加賀市「市民会館」 ・テーマ「未来を思考する教育員会のあり方」 	<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教委連の研修、セミナーの参加については、今後も継続していきたい。また、教育委員会主催の講演会等も実施し、見識を広めていきたい。
	<p>○教職員の資質・指導力の向上</p> <p>①中能登町、七尾市教職員と合同講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 令和元年8月19日 ・場 所 ラピア鹿島 ・演 題 「本県教育の課題とその対応について」 ・講師 石川県教育委員会 教育長 田中 新太郎 氏 <p>②姉妹都市「紀宝町」学校教職員との交流 紀宝町からの視察訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 令和元年11月15日 紀宝町(11名) ・中能登中学校学校訪問 道徳授業公開参観 道徳公開授業研究会 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田中新太郎教育長には、中能登町、七尾市教職員の合同研修会において、学校経営の取組について講演していただいた。 <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両町の学校教育の方針、内容等について理解を深めた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も、交流を更に深めていきたい。
	<p>○保小連携推進事業</p> <p>①保小連携推進委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 5月21日 ラピア鹿島第2会議室 アプローチ・スタートカリキュラムの実施状況 ・第2回 8月23日 ラピア鹿島第2会議室 進捗状況の報告及び懇談 ・第3回 2月18日 ラピア鹿島第2会議室 今後に向けての継続・改善 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保小連携推進委員会では、校長、園長、実務担当者が参加するため、連携内容についての課題や対応について速やかに協議することができた。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(7) 教育委員会と学校及び関連機関との連携した取組	<p>②保小連絡会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1 学期…1 年生の授業参観と情報交換 ・夏季休業中…年長児の保育参観と情報交換 ・3 学期…次年度入学園児の情報交換・学級編成 <p>③合同研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保小連携推進研修会 令和元年 12 月 26 日 ラピア鹿島アイリスホール 講師：金沢星陵大学 准教授 芥川元喜 氏 「保小連携の取組について」 参加者：小学校教員、保育士 <p>④行事参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動会（かざぐるま取り） ・年長児授業体験 ・年長児ようこそ集会（新 1 年生を迎える会） 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士と教師の合同研修会を開催することで、保小接続の重要性についての互いの立場から理解を深めることができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保小、小小交流を継続し、連携のねらいを共有しながら、有効性、必要性のある取組みを推進していく。 ・訪問が一時期に集中しがちだが、年間を通して相互訪問できるような計画を立てていく。
(8) 学校と家庭と地域の連携強化	<p>○学校行事や学校生活についての情報公開、行事等の地域住民への参加呼びかけ</p> <p>①ケーブルテレビ（なかのとチャンネル）放送</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども通信 各小中学校の取組等を紹介 ・なかのとスペシャル <p>②広報掲載</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月発行の町広報に掲載 ・ホームページ掲載 <p>○食育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各小中学校 栄養教諭による給食時の学年別食育指導 ・鳥屋小学校 10 月 「いしかわ食育ブック」の取組 11 月 給食試食会及び栄養教諭による食育指導（1 年保護者） ・中能登中学校 6 月 食育講演会（全校生徒、和食料理人） 7 月 ミニトマト生産者との食育授業、交流給食（2 年 4 組、全校生徒、ミニトマト生産者） 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事や授業、活動などの取組みについてケーブルテレビで放送した。広報、ホームページなどを利用し、保護者、地域住民への情報提供を行うことができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページなど、その都度更新しながら、継続して情報発信に努める必要がある。 <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中能登中学校では、1 年を通じて食育の推進に取り組むことができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も食育の推進に努めていきたい。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(8) 学校と家庭と地域の連携強化	<p>8月 朝食づくり「おにぎり大作戦」(給食委員会) 9月～10月 お魚マイスターによる指導、魚さばき体験 (2年、お魚マイスター)</p> <p>11月 食生活改善推進委員による親子料理教室 (18組を2日間)、町との共催事業 (児童・生徒、食生活改善推進委員、 保育園児、高校生徒)</p> <p>イセヒカリ生産者との交流給食 (全学年、イセヒカリ生産者)</p> <p>和食給食の実施 (全学年、和食料理人)</p> <p>道徳科(和食給食)の授業 (2年1組生徒)</p> <p>12月 全校集会での給食委員会発表 (給食アンケート)(全学年)</p> <p>学校長、学級担任による全校マナー指導 (全学年)</p> <p>防災食の指導、防災食実習 (3年生徒、石川県栄養士会)</p> <p>1月 生産者との交流給食(全学年、生産者)</p> <p>2月 全校集会での給食委員会発表(カルシウム) (全学年、生産者)</p>	
	<p>○あいさつ運動や街頭指導の組織化と実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各小中学校で取り組んでいること 4月 街頭挨拶運動、交通安全指導 (教職員及びPTA役員・実行委員) 11月「グッドマナーキャンペーン」街頭指導 (教職員及びPTA役員・実行委員) <p>・鳥屋小 毎月1、15日 全校児童 玄関前のあいさつ運動 PTA全会員による地区ごと当番制あいさつ運動</p> <p>・鹿西小「ろくせいパトロール隊」との交流</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ運動や、街頭指導に取り組むことができた。
	<p>○社会教育団体との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各小中学校 毎月 「朝の読み聞かせ」地域ボランティア ・各小学校 男女共同参画推進委員による学習 ・鳥屋小学校 10月 中能登町消防署員による「子ども救急隊員プロジェクト」 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ボランティアの方により、朝の読み聞かせの時間を充実させることができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥屋小学校で、実施した中能登町消防署員による「子ども救急隊員プロジェクト」を、令和2年度は、全小学校で実施予定である。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(8) 学校と家庭と地域の連携強化	<p>○教育力の向上を目指す学校・家庭・地域のあり方</p> <ul style="list-style-type: none"> 各小中学校 租税教室の開催 鳥屋小学校 6月 地区別「地域懇談会」で学校代表・保護者・区長が諸問題について相談 鹿島小学校 7月 P T A親子音楽鑑賞会 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中能登町租税教育推進協議会による租税教室 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校、家庭、地域の連携に努めていくことが今後の課題である。
	<p>○区域外通学の弾力的運用</p> <p>①中能登町立学校通学区域規則の一部改正 ・平成24年度施行</p> <p>②中能登中学校への区域外就学生徒数 1年生6人、2年生5人、3年生12人</p>	<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 町域内外においても弾力的に運用していきたい。
	<p>○環境教育の充実</p> <p>総合的な学習で「町の環境についての学習」6年</p>	<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 継続して児童に環境を通して、生命の尊厳を教えていきたい。
	<p>○理数大好き事業の発展</p> <ul style="list-style-type: none"> 各小中学校 夏季休業 科学作品応募 全学年希望者 理科教育設備整備費事業 (鹿島小学校、鳥屋小学校) 理科アシスタントを活用し、観察・実験活動の充実を図る。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 理科教育設備整備費事業について、鹿島小学校、鳥屋小学校の理科教材等の整備も含め、観察・実験活動に有効であった。
(9) 中能登らしい学校教育の推進	<p>○進路相談及び進路学習の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 鳥屋小 町の施設・働く人についての学習 2年 中能登中学校 高校学習会 6月 (2日間で5校ずつ) 7月 鹿西高校の講師による3年生対象の出前授業に参加 8月 鹿西高校生徒による3年生の自主学習のサポート実施(3年生69名参加) 7~8月 県内高校の体験入学(オープンスクール) 27校で延べ468人参加 11月 高校入学説明会 生徒及び保護者対象 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校では、働く人について学ぶことができた。 高校学習会を充実させることができた。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(9) 中能登らしい学校教育の推進	<p>○学術文化など最先端に行く技術や知識を知る学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鳥屋小 県立美術館による「出前講座」 (5、6年) 「美術鑑賞」 (全学年) ・ 鹿西小 「なかよし遠足」における地域の文化財の見学 ・ 鹿島小 講演「夢の扉を開く」 苗の木育成セミナー 森に恩返し運動 i n 石動山 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学術文化にふれることができた。
	<p>○夢プロジェクト構想の拡充発展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6月 N4 サミット (中能登中で) 児童会、生徒会の交流 ・ 10月 ドリーム3 (中能登中で) 中学校の授業と部活動体験 ・ 1月 出前授業 (鹿島小学校で) 社会科 ・ 2月 出前授業 (鳥屋小学校で) 音楽科 出前授業 (鹿西小学校で) 音楽科 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校、中学校の交流を進め、安心して中学校へ入学できるよう努めた。
(10) 夢プロジェクト事業	<p>○夢プロジェクト活動事業</p> <p>夢プロジェクト第Ⅲ期3年目、10年間の総まとめとして、学校間の連携や心のふるさととなりうる教育活動などを実施し、10年の歩みを発行した。また、小学校低学年を対象に、遊ぶことやスポーツの楽しさを知ってもらうことを目的に、放課後スポーツ教室を月2回程度実施した。その他、専門部会での活動は次のとおりである。</p> <p>①学力向上部会 夢プロ検定 (漢字・計算・ローマ字) や共通補助教材を使ったテストを実施し、児童・生徒の学力向上を図った。また、各学校で研究発表会を実施し、授業改善と教師の指導力向上を推進した。</p> <p>②ふれあい部会 小学4年生を対象にふるさと検定を実施し、ふるさと中能登町を知ることができた。 3校の小学6年生が中学校1日体験をするドリー</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 夢プロジェクト10年間の総まとめとして、「つながりを力に、がんばりを誇りに、未来に向かって光り輝く中能登の子」を育成することにより、「教育の町 中能登」のさらなる充実発展を成し遂げられた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校間の連携や地域との交流など、ふるさとに愛着と誇りが持てる活動を継続しながら、コミュニティースクールへと移行していきたい。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(10) 夢プロジェクト事業	<p>ム3を実施し、レクリエーション等で交流することにより、仲間意識をもつことができた。また、部活動体験をすることで、中学校生活への意欲を高めることができた。</p> <p>③スポーツ・部活動部会 小学校では、4年生による器械運動交歓会、5・6年生による水泳交歓会で3校の交流を図りながら、郡や県の陸上競技大会やいしかわっ子駅伝に参加するなど心身を鍛え、元気いっぱいの児童の育成に取り組んだ。また、6年生を対象に「夢プロスポーツマンシップ賞」を設け、各スポーツ教室での姿勢が他の模範となっている児童を表彰した。 中学校では、熱心に取り組み、礼儀正しく強い部活動を目指すことを重点に部活動に取り組み、各種大会で良い成績をおさめた。</p> <p>④生徒指導部会 良好な人間関係作りをテーマに、いじめ不登校防止のためのQUアンケートをはじめ、人間関係の土台作り「ナカノトーーーク」や「エンカウンター」といったグループトークを実施した。</p> <p>⑤児童会・生徒会部会 小中学校の代表が集まる「N4 サミット」を開催し、「先あいさつを全員が目指す」ことを目標に、各学校ごとであいさつ運動を実施し、先あいさつをしている割合を調査するなど、より良い学校づくりに小中連携して取り組んだ。</p> <p>⑥PTA 部会 子育ての原点は家庭が基本であると考え、「家族の絆」「あいさつから始まるふれあい」「歩育」「食育」「なかのとネットマナー」をテーマに、標語・川柳コンクールを開催し、親子で向き合い、話し合う時間を持ち、優秀作品には表彰式を行うとともに町広報への掲載や道の駅などにも掲示した。 また、保護者が共感し、共有できる「子育て憲章」を制定した。</p>	

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(11) ICT 整備 推進 事業	<p>○学校 ICT※⁵ 機器整備事業</p> <p>①中学校教師用ノートパソコン 85 台更新 ②教育委員会パソコン 8 台更新</p> <p>※各小中学校パソコン台数 (デスクトップ・ノートパソコン)</p> <p>中能登中学校・・・147 台 鳥屋小学校・・・147 台 鹿島小学校・・・119 台 鹿西小学校・・・106 台</p>	<p>【成果】</p> <p>・windows10 のノートパソコンを導入し、教職員及び教育委員会にとって、よりよい PC 環境となった。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>・令和 2 年度に電子黒板 6 台導入する予算がつき、中学校に整備予定。また、一人一台端末の国庫補助を活用し、ICT による学習環境を計画的に整備していく。</p>

2 学校施設・設備の整備充実

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
学校 整備 事業	<p>○事業の概要</p> <p>1. 鳥屋小学校</p> <p>・工事名 令和元年度鳥屋小学校エアコン設置工事</p> <p>・場 所 中能登町末坂ナ部 7 番地</p> <p>・工 期 5 月 9 日～5 月 31 日</p> <p>・工事費 1,531,440 円</p> <p>・内 容</p> <p>(1) エアコン 1 台</p>	<p>【成果】</p> <p>・特別支援学級を新たに新設した。新設した教室には、エアコンが設置されていなかったが、エアコンを設置することができ、児童によりよい学習環境を整備できた。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>・必要性や緊急性、費用対効果を検討しながら、安全安心な学校設備整備を継続していきたい。</p>

3 学校給食

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価																					
学校 給食	<p>○学校給食費の第 2 子以降無償化</p> <p>①学校給食費の助成</p> <p>・中能登町に住所を有し、18 歳に達する以後の 3 月 31 日までの間にある対象児童生徒を 2 人以上扶養している保護者へ助成する。</p> <p>②助成実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>H31</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鳥屋小学校</td> <td>160 人</td> <td>153 人</td> </tr> <tr> <td>鹿島小学校</td> <td>237 人</td> <td>237 人</td> </tr> <tr> <td>鹿西小学校</td> <td>119 人</td> <td>111 人</td> </tr> <tr> <td>中能登中学校</td> <td>221 人</td> <td>193 人</td> </tr> <tr> <td>町外学校</td> <td>10 人</td> <td>14 人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>747 人</td> <td>708 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○学校給食費の公会計への移行</p> <p>平成 30 年度から町予算に計上し、管理・運用を行う公会計方式への移行のため、学校給食費の徴収管理システムを導入して運営している。</p>		H30	H31	鳥屋小学校	160 人	153 人	鹿島小学校	237 人	237 人	鹿西小学校	119 人	111 人	中能登中学校	221 人	193 人	町外学校	10 人	14 人	合計	747 人	708 人	<p>【成果】</p> <p>・平成 28 年から始まった、第 2 子以降の児童生徒の給食費無償化により、子育て世代への負担軽減に繋がった。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>・給食費助成制度の周知を図り、対象児童生徒の保護者全員が申請するよう呼びかける。</p> <p>【成果】</p> <p>学校給食費を町予算に組み入れ、予算・決算・監査等、町会計ルールに基づいた管理・運用ができるようになった。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>次年度も、学校給食費の徴収管理及び食材費の支払い等の適正な運用を図っていきたい。</p>
	H30	H31																					
鳥屋小学校	160 人	153 人																					
鹿島小学校	237 人	237 人																					
鹿西小学校	119 人	111 人																					
中能登中学校	221 人	193 人																					
町外学校	10 人	14 人																					
合計	747 人	708 人																					

4 文化財

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価					
(1) 文化財保護事業	<p>○伝統的建造物群保存対策事業</p> <p>①伝統的建造物群保存対策調査委員会の開催 (6月24日、12月19日、1月20日)</p> <p>②各部会の開催</p> <p>○建築部会 伝統的建造物群保存対象家屋11件を調査した。</p> <p>○町並み部会 部会を6回開催。現地調査をのべ4回実施</p> <p>○歴史考証部会 部会及び調査を8回開催、実施。</p> <p>③能登部上、徳丸、能登部下地区を対象に、伝建調査委員会町並み部会が能登部上区会館でワークショップを開催した。(9月1日)</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 重要伝統的建造物群保存地区の選定に向けて、調査委員会を開催した。また、各部会もそれぞれ開催した。対象区民の理解を得るために、ワークショップを開催し、理解を深めた。調査報告書については本事業で調査を担当している研究者との調整に不測の日数を要したため、委員会の開催1回と印刷製本が実施できなかった。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 保存対策調査報告書の刊行にむけ、調査委員会で全体の調整後、印刷製本を行う。 					
	<p>○史跡石動山保存整備事業</p> <p>基礎資料の整理を実施した。</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 調査報告書の刊行の基礎資料の整理を実施した。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 報告書作成に向けて基礎資料の整理を引き続き実施する。 					
	<p>○埋蔵文化財の保護</p> <p>①高島カタダ・スギモト遺跡発掘調査 昨年度に発掘調査した遺跡の報告書を刊行した。</p> <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>印刷部数</td> <td>300部</td> </tr> <tr> <td>版面</td> <td>A4版</td> </tr> <tr> <td>頁数</td> <td>60項</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 調査の概要 遺跡名称：高島カタダ・スギモト遺跡 発掘面積：2,459㎡ 遺跡の種別：集落跡 主な時代：古墳時代前期～中期、古代 <p>②【新規】町内遺跡発掘調査等事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 試掘調査等 町内では宅地造成等の開発行が増加傾向にあり、試掘調査等を行い埋蔵文化財の保護に努めた。 	印刷部数	300部	版面	A4版	頁数	60項
印刷部数	300部						
版面	A4版						
頁数	60項						

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価												
(1) 文化財保護事業	<p>埋蔵文化財の照会 16件 試掘調査 7件 立ち合い工事 1件</p> <p>・古墳の測量調査 古墳は、町の特色ある文化財のひとつであり、複数年の計画で調査を実施。町内の古墳を踏査し墳丘の測量を実施する予定。今年度は、水白円山古墳群等の踏査と測量を行った。調査にあたっては、調査検討委員会を組織して、指導助言を得た。</p>	<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化財保護法に基づき、埋蔵文化財の保護措置を適切に実施していく。 古墳の調査については、事業の成果を地域へ還元することで、古墳の保存・活用の活性化を促す。 												
	<p>○指定・登録文化財の保護</p> <p>①文化財保護審議会の開催 (1回)</p> <p>②文化財パトロール (4回)</p> <p>③指定文化財の状況</p> <table border="0" data-bbox="300 949 687 1144"> <tr> <td>指定・登録文化財</td> <td>121件</td> </tr> <tr> <td> 内訳</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 国指定</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td> 県指定</td> <td>6件</td> </tr> <tr> <td> 町指定</td> <td>105件</td> </tr> <tr> <td> 国登録</td> <td>5件</td> </tr> </table> <p>新指定の文化財 種別：町指定有形文化財（歴史資料） 名称：乗念寺関係資料 員数 古文書 612点 什物 61点</p> <p>④指定文化財の維持管理助成 43件</p>	指定・登録文化財	121件	内訳		国指定	5件	県指定	6件	町指定	105件	国登録	5件	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 審議会を開催し、指導及び助言を得た。2か年にわたって調査し、その成果をとりまとめた「乗念寺関係資料」について、町指定文化財として答申した。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定や登録されるべき文化財の調査研究を進め、文化財の保存と活用が適切に図られるよう努めたい
	指定・登録文化財	121件												
内訳														
国指定	5件													
県指定	6件													
町指定	105件													
国登録	5件													
<p>○指定文化財の説明板設置事業</p> <p>・町指定建造物「長楽寺山門」（能登部下地内）の説明板設置</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 説明版を設置したことで指定文化財として周知され保護につながるほか、見学者へ地域の歴史・文化を紹介することができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度で指定文化財の説明板の設置は終了するが、これまで設置してきた説明版を定期点検するなど、適切な維持管理に努めたい。 													

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価																	
(2) 文化財管理運営事業	<p>○史跡・文化財施設の管理状況</p> <p>①石動山歴史の広場（史跡公園）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大宮坊の運営管理 見学者数 2,417 人 ・県指定文化財旧観坊の管理 建物維持のため通風及び薪焚きの実施 ・石動山資料館の管理運営 入館者数 1,065 人 <p>②県営都市公園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園名：能登歴史公園（石動山地区） 平成 18 年度より指定管理 開設面積：16.3ha 主な施設：遺構広場、芝生広場、便所、駐車場 ・主な管理内容 園地管理（芝生・樹木管理など） 施設管理 （公園管理事務所、公衆トイレの管理など） <p>③雨の宮古墳群（古墳公園・グリーン広場）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な管理内容 芝生・樹木管理及び除草作業 雨の宮能登王墓の館の管理運営 入館者数 1,564 人 ・施設の修繕 グリーン広場トイレ改修工事（和式から洋式） イノシン除け門扉・金網設置工事 雨の宮 2 号墳階段・木柵修繕 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財の保護を図りながら定期的に園地の芝生管理、樹木管理、公園施設の維持管理を行なった。特にトイレ改修工事によって利便性が向上した。利用については、学校教育、社会教育の場として活用することができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さらに史跡の適切な維持管理と活用に努めるとともに、展示施設の利用者増加を図るため、特別展を実施するほか、地域の外部団体とも協力していく。 																	
	<p>○文化財の活用事業（公園自主事業）</p> <table border="0"> <tr> <td>史跡を訪ねるつどい</td> <td>5/3</td> <td>98 人</td> </tr> <tr> <td>石動山開山祭</td> <td>7/7</td> <td>54 人</td> </tr> <tr> <td>石動山ユリ展</td> <td>7/10～29 日</td> <td>354 人</td> </tr> <tr> <td>中能登親子トレジャートレイルラン</td> <td>8/25</td> <td>112 人</td> </tr> <tr> <td>石動山秋のつどい</td> <td>10/5</td> <td>34 人</td> </tr> <tr> <td>出前講座等</td> <td>11/21</td> <td>30 人</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の修繕 公園管理事務所トイレ改修 大宮坊御成門及び番所扉修繕 歴史公園木柵井戸蓋修繕 園路修繕 	史跡を訪ねるつどい	5/3	98 人	石動山開山祭	7/7	54 人	石動山ユリ展	7/10～29 日	354 人	中能登親子トレジャートレイルラン	8/25	112 人	石動山秋のつどい	10/5	34 人	出前講座等	11/21	30 人
史跡を訪ねるつどい	5/3	98 人																	
石動山開山祭	7/7	54 人																	
石動山ユリ展	7/10～29 日	354 人																	
中能登親子トレジャートレイルラン	8/25	112 人																	
石動山秋のつどい	10/5	34 人																	
出前講座等	11/21	30 人																	

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
<p>(2) 文化財管理運営事業</p>	<p>○講座・企画展の開催</p> <p>①石動山歴史文化講座 開催日 12月14日 参加人数 72人 講師・演題 福江 充 氏（北陸大学教授） 「立山信仰と能登半島 一川と海から見た立山信仰一」</p> <p>②出前講座（郷土学習の支援） ・学芸員と行く史跡めぐり 7件 ・学校・団体等見学 20件</p> <p>③ 企画展 ・明治・大正・昭和の学校教材展 8月1日～8月30日 入館者 980人 ・中能登町文化財コレクション展 12月2日～12月26日 入館者 748人 ・いしかわ歴史遺産パネル展 2月16日～3月22日</p> <p>○いしかわ歴史遺産の認定 認定ストーリーの名称 能登の山岳信仰の霊場～石動山と山麓の歴史遺産～ 認定日：令和2年1月28日</p>	<p>【成果】</p> <p>・講座や企画展を通して文化財に対する理解が深まったと考えている。企画展は郷土資料をとおして町の歴史や文化を紹介する場として、郷土学習や郷土愛を育み、町内外の方々にその役割を普及啓発することができた。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>・積極的に事業を実施し、広く文化財に対する理解を深め、愛護の精神やふるさとに愛着を持っていただけるよう引き続き実施していく。</p> <p>【成果】</p> <p>・町の国史跡である石動山をテーマとした、いしかわ歴史遺産の認定を受け、地域の文化財や伝統文化をパネル展として紹介し、観光振興や地域の活性化につなげる役割を果たした。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>・今回の認定を受けた石動山や平成29年度認定内容に含まれる町の国史跡雨の宮古墳群とともにテーマに関連したイベントや企画展等を実施し、町内外の方々に広く町の文化財の魅力と価値を周知し、地域の活性化につなげたい。</p>

5 生涯学習の振興

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">(1) 生涯学習センター「ラピア鹿島」の充実</p>	<p>○文化芸術活動を通じた交流、発表の場とする</p> <p>①町文化まつりの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 令和元年11月2日(土)～4日(月) ・会場 ラピア鹿島、カルチャーセンター飛翔 ・作品展示 37団体、600人 ・入場者 約4,000人 ・芸能発表 36団体、280人出演、入場者約500人 ・講演会 「石動山と荒山合戦」 ・ミュージカル公演 「中能登版サウンドオブミュージック」 ・お茶席 入場者200人 ・将棋大会 参加者30人 カルチャーセンター飛翔和室 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度も昨年並みの作品展示スペースを確保し、多くの方に出展を依頼することができ、たくさんの方々に展示品をご覧になって頂いた。 ・玄関には看板やチラシを置き来館者にわかりやすいよう努めた。 ・また、芸能発表も継続して行った。 ・今回も開催日を2日間(作品展示については3日間)として充実あるまつりの内容とした関係もあり、入場者数も大幅に増えた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的に高齢化が進み、脱退する団体も増え始めてきていることから、後継者の育成及び新規加入促進策を検討しなければならない。また、各団体の事業内容の見直しも行うように指導していきたい。
	<p>②文化推進事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化推進特別事業「山口智充オンステージ」 339名 令和元年8月18日(日) ラピア鹿島 ・ピアノにあえる日 約250名 令和元年8月25日(日) ラピア鹿島 ・自衛隊コンサート(海上自衛隊)約600名 令和元年9月7日(土) ラピア鹿島 ・町民文化講演会「福祉のつどい」約400名 令和元年10月6日(日) ラピア鹿島 ・クリスマスコンサート 約250名 令和元年12月22日(日) ラピア鹿島 ・東日本大震災「写真展」 774名 令和2年2月22日(土)～3月12日(木) ふるさと創修館 ・中能登ふれあいコンサート2020 【中止】 令和2年3月1日(日) ラピア鹿島 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度は6事業を実施した。1事業が新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。 ・各種事業とも生涯学習施設の活用を積極的に推進し、町民に薰り高い文化の享受の機会を提供するための事業を行い目的が達成できた。また、学習センターにおいて施設の円滑適正かつ効率的な運営を図ることができ効果的に事業を行うことができた。 <p>【今後の方向性】</p> <p>町民をはじめとする多くの人々が集い、事業を通じ文化活動の活性化を図っていきたい。</p>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価																																				
(1) 生涯学習センター「ラピア鹿島」の充実	<p>○生涯学習の拠点として施設の充実を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラピア鹿島の大規模工事を実施（4年目） ホール音響設備更新 工事費 38,540,700円 工 期 令和元年10月16日 ～令和2年2月14日 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度は大規模改修の最後としてホール音響設備の更新を行った。これでほぼ大掛かりな改修・更新工事を終えたことになる。この4ヶ年で実施した総経費が約3億円であり、財政難の中、整備ができた利用者が快適に使用できる学習施設の充実が図られた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最新設備の導入により、操作や仕様が大きく変わったことから、一日でも早く機器操作に慣れ、ホール運営に支障がないよう努めていきたい。また、今後も適正な維持管理に努め、町民の文化芸術活動の拠点施設としての環境整備に努めたい。 																																				
(2) 生涯学習講座の実施	<p>○住民のニーズを把握し、学習機会の場を提供する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習講座の実施 <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">1) 手芸講座</td> <td style="width: 10%;">4回</td> <td style="width: 10%;">延べ</td> <td style="width: 50%;">66人</td> </tr> <tr> <td>2) 運動講座（夏季）</td> <td>3回</td> <td>延べ</td> <td>69人</td> </tr> <tr> <td>3) 健康づくり（冬季ソフト）</td> <td>3回</td> <td>延べ</td> <td>50人</td> </tr> <tr> <td>4) 健康づくり（冬季ハード）</td> <td>3回</td> <td>延べ</td> <td>41人</td> </tr> <tr> <td>5) 魚さばき講座（夏季）</td> <td>3回</td> <td>延べ</td> <td>29人</td> </tr> <tr> <td>6) 魚さばき講座（冬季）</td> <td>2回</td> <td>延べ</td> <td>24人</td> </tr> <tr> <td>7) ピラティス</td> <td>1回</td> <td>延べ</td> <td>19人</td> </tr> <tr> <td>8) 切り絵で蓬莱作り</td> <td>1回</td> <td>延べ</td> <td>24人</td> </tr> <tr> <td>9) フラワーアレンジメント講座</td> <td>3回</td> <td>延べ</td> <td>22人</td> </tr> </table> ・女性講座 講師謝金一部助成 6,000円 （各支部1回/年のみ助成） 実績 12支部 ※支部数 21地区 <p>○地域住民によるふるさと学習を提供する</p> <p>中能登町の生涯学習の推進を目的とし、町で活躍する文化活動の先生（講師）を活用し、地域及び学校の学習活動の支援を行う。</p> <p>まちの先生（メニュー16項目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食べ物作り ・手作り道具、手工芸 ・スポーツレクリエーション ・自然、科学、環境 ・地域に伝わる芸能、歴史 ・日本文化 ・芸術 ・教育、福祉、生き方 ・国際交流 	1) 手芸講座	4回	延べ	66人	2) 運動講座（夏季）	3回	延べ	69人	3) 健康づくり（冬季ソフト）	3回	延べ	50人	4) 健康づくり（冬季ハード）	3回	延べ	41人	5) 魚さばき講座（夏季）	3回	延べ	29人	6) 魚さばき講座（冬季）	2回	延べ	24人	7) ピラティス	1回	延べ	19人	8) 切り絵で蓬莱作り	1回	延べ	24人	9) フラワーアレンジメント講座	3回	延べ	22人	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度は、利用者アンケートをとり健康に関する講座をソフトとハードの2部門に分け、ニーズに合わせた講座に取り組んだ。9講座、延べ23回開催。延べ344人が参加。 ・女性講座を利用する支部も増えてきており、地域での学習機会の普及が進んでいる。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者が多い運動講座のメニューを改善しながら、トレーニング等の利用促進を促す。壮年層が継続して取り組みが実施できる講座を新規に設ける。 <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各講師が自治公民館等から依頼を受け、ふるさと学習を提供している。令和元年度においては、生涯学習のつどいにて体験・紹介コーナーを設け、活動周知を行った。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと学習の提供の周知・利用促進について、講師と協議を行いながら各イベントでの紹介等につなげていきたい。
1) 手芸講座	4回	延べ	66人																																			
2) 運動講座（夏季）	3回	延べ	69人																																			
3) 健康づくり（冬季ソフト）	3回	延べ	50人																																			
4) 健康づくり（冬季ハード）	3回	延べ	41人																																			
5) 魚さばき講座（夏季）	3回	延べ	29人																																			
6) 魚さばき講座（冬季）	2回	延べ	24人																																			
7) ピラティス	1回	延べ	19人																																			
8) 切り絵で蓬莱作り	1回	延べ	24人																																			
9) フラワーアレンジメント講座	3回	延べ	22人																																			

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(3) 生涯学習のつどいの実施	<p>○講演、体験・紹介コーナーを行い、町民への生涯学習活動について周知を行うと同時に、お互いが学びあえる学習機会の提供を図る。社会教育委員が主体となり、企画及び運営する。</p> <p>・「生涯学習のつどい」の開催</p> <p>1)日 時 令和2年2月16日(日)</p> <p>2)場 所 ラピア鹿島「アイリスホール」</p> <p>3)テーマ 「令和と共に生きる」</p> <p>4) 体験・紹介コーナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・切り絵体験 ・勾玉づくり ・繊維スポーツ ・運動体験 ・民謡 ・着物について ・洋菓子作り ・子育て法 <p>5)基調講演</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆演 題 外国人と共に生きる 多文化共生の地域づくり 日本語教室活動を通じて ◆講 師 石井 恵理子氏 (東京女子大学現代教養学部教授) ◆演 題 平成から令和へ 新たな時代を迎えて ◆講 師 竹田 恒泰氏 (作家) <p>※開会前に夢プロジェクト「標語・川柳コンクール賞」表彰式を開催した。</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度はテーマを「令和と共に生きる」と設定し、生涯学習の紹介・体験コーナーを設け、学びの場を提供することができた。 ・講演会は2本立てとし、多文化共生についての教養、日本の歴史についての教養を行い、長時間の講演となりましたが、来場者も多く知識になり話を聞いた等、好評であった。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業がマンネリ化しないように、基調講演等の企画・運営を図る。 ・今後も生涯学習に役立つ内容の基調講演、体験・紹介コーナーによる生涯学習の周知に取り組む。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(4) 公民館活動の充実	<p>○各自治公民館の活動を基盤とする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治公民館活動への助成（58 地区） <p>【活動内容】</p> <p>各種レクリエーション大会、夏祭り、盆踊り、防災訓練、納涼祭、環境美化、その他行事等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域自治公民館振興事業（1 地区） <ul style="list-style-type: none"> ①落語寄席 <ul style="list-style-type: none"> 1)実施日 令和元年 12 月 1 日（日） 2)団体名 黒氏区・一青区 3)参加者 76 名 4)内 容 複数地区住民の交流・親睦 <p>・敬老会</p> <ul style="list-style-type: none"> 1)実施日 令和元年 9 月 22 日（日）11:00～ 2)場 所 スポーツセンターろくせい 3)参加者 634 人（参加率 17.8%） ※対象者 3,556 人 4)内 容 <ul style="list-style-type: none"> 町民憲章唱和 女性協議会 開会挨拶 町長 祝辞 国会議員、県議会議員、町議会議員 金婚者記念品贈呈 乾杯 区長会代表 アトラクション 町内保育園、文化協会 他 謝辞 老人会代表 閉会挨拶 教育長 協力団体 区長会、女性協議会 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区住民が連帯し自主的に事業を企画、実施することにより、自治意識の高揚を図り、住民相互の連帯感を醸成し、地域の活性化の促進を図ることができた。平成 31 年度より 1 地区あたり上限 20,000 円とし、花いっぱい運動に対する助成制度を設け、自主的な活動の促進を図った。自治公民館が複数で事業を展開することにより、各自治公民館の生涯学習全般にわたる活発な活動を促進し、当該地域が本来持つ力の再生や地域の活性化と連携強化を図ることができた。伝統文化合同行事の参加率も減少してきた中、この事業により融和と親睦を深めることができた。1 地区で実施したが、それぞれに事業目的どおりの成果ができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域自治公民館振興事業の継続的推進を図るとともに、補助金の有効活用への助言等、各自治公民館の自主的活動の更なる充実を図る。 <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長年地域社会の発展に尽力された高齢者への祝意と敬意を表し町主催で開催しており、地域と高齢者の繋がりを強化し地域全体で支え合う仕組みづくりの構築を目指し、区長会、女性協議会に協力を要請している。地区ごとの座席を指定しており、地区の方がお世話をするすることで、参加者は安心して、催しを楽しんでいる様子が伺える。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年々参加者が減少してきていることから、地区ごとに実施できないかアンケートを実施し、地区開催の有無を検討していきたいと考えている。高齢者が参加しやすい地域単位での敬老会に移行できないか区長や女性協議会と協議したいと考えている。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
<p>(4) 公民館活動の充実</p>	<p>○関係団体との連携を密にし、各種団体の活性化を図る</p> <p>①地域文化活性化事業の活用 文化団体の新たな活動に対し、いしかわ県民文化振興基金及び町補助金により経済的支援を行うことにより、文化活動の活性化につなげる。</p> <p>平成 31 年度実施団体 (3 団体)</p> <p>1) 中能登町古墳友史会 雨の宮古墳群整備 20 周年記念イベント事業</p> <p>2) よこぶえ・ほらがい古知今知 石動山法螺貝 (講習会事業)</p> <p>3) 鶴様道中の宿保存会 鶴様道中伝承活動事業</p> <p>②各種団体への助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中能登町文化協会 会員相互の学術技芸の習得意欲の向上と、地域社会の文化向上に寄与する。 <p>1) 町補助金 2,750,000 円</p> <p>2) 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆年 2 回 (第 19、20 号) の文化だより発刊 ◆文化まつりの開催 ◆町事業への参加協賛 ◆県庁ロビーコンサートへの参加 <p>平成 31 年 4 月 14 日 (日) 14:00～ コーラスろくせい、すこやか太極拳クラブ</p>	<p>【成果】 文化団体の新たな取り組みとして、県基金より認定を受け、継続事業として行っている。平成 31 年度は 3 団体が事業に取り組み、各団体は講演会等周知活動を実施し、地域住民への浸透に結び付けることができた。</p> <p>【今後の方向性】 いしかわ県民文化振興基金の活用を促し、新規活動の支援を行う。継続事業については、適正な事業計画の精査・助言を行う。</p> <p>【成果】 ・文化協会活動では、それぞれの団体が、発表会やボランティア活動等に積極的に参加し、地域文化の向上が図られた。また、平成 31 年度も活動発表として文化まつりの会場で発表会を開催した。団体においては 1 年間の成果を発表し、町民は楽しいひと時を過ごせた。</p> <p>【今後の方向性】 ・文化協会の各種団体への加入状況が減少傾向にあるため、広報誌等を活用し入会案内を行い、加入促進を図っていく。令和 2 年度については益々の学術技芸を磨きあげていきたいと考えている。</p>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(4) 公民館活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・中能登町実年会 町実年層の親睦と融和を図りつつ、その教養を高めより良い町づくりの推進に寄与する。 1) 町補助金 300,000 円 2) 事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ◆町内美化活動の実施 ◆春・秋交通安全街頭指導 ◆「中能登町実年会だより」の発行 ◆バス視察研修（能美市方面） ◆出前講座の開催 犯罪被害に遭わないために（七尾警察署） ◆グラウンドゴルフ大会 ◆町長と語る会 ◆ボウリング大会 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員数の減少が続く中、継続し活動することにより参加者を集め、町実年層の親睦と融和を図ることができた。 ・実年会だよりの発行により町民にどのような活動をしているか周知することができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度町実年会は鳥屋地区から3団体、鹿西地区から1団体の計4団体と団体数の変動はないが、今後も、加入団体が減少しないよう継続するためには何をすべきか。また、実年会として町のために、どのような行動が必要なのか事業内容の見直しが必要である。
	<ul style="list-style-type: none"> ・中能登町青壮年協議会 町内青壮年の親睦、交流を図り、青壮年層の活性化に資することを目的とする。 1) 町補助金額 300,000 円 2) 事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ◆春・秋花いっぱい運動参加 ◆町民地区対抗ソフトボール大会 ◆町祭協賛事業（町祭、清掃ボランティア） ◆なかのとハロウィン事業 ◆なかのとトレジャートレイルランボランティア ◆やじきた祭り ◆町長と語る会 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民地区対抗ソフトボール大会では17地区の参加があり、多くの若者の交流の場となった。 ・町祭協賛事業では、来場者に清掃活動を呼びかけ会場の美化に努めた。 ・ハロウィン事業では、イベント実行委員会として企画と運営に携わり、町の活性化に努めた。 ・やじきた祭りは、おにぎりの日にちなみ、道の駅の協力のもと、オリジナルおにぎりを立案、販売した。また腕相撲大会等で会場を盛り上げ、地域との交流につながった。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き会員の加入促進に努め、新たな事業を企画・実施し青壮年層の活性化を図りたいと考えている。 ・今年度は婚活事業が無かったので、次年度はぜひ企画するよう指導していきたい。